

地元議員との懇談を行いました

「考える会」は、会を作った当初から、地元の議員さんにお知らせや、報告を行ってききましたが、いままで、「学習会」や「地区の説明会」などには参加して頂いていませんでした。

そこで、私たち地域住民の声を聞いて頂きたいということで、会員と協力者に呼びかけ、懇談会を行いました。

轟正満議員は昨年1月26日に

町田伍一郎議員は今年1月21日に行いました。

21日の懇談で町田議員は、「大豆島への一極集中は止めて、長野市26区全体で考えて欲しい」という要望に、「まだ、大豆島に建設するとは決まっていな。長野市全体で検討するよう、環境部長、一課長によく話をしておく」と約束してくださいました。

私たちの声を議会に届けてください！

当日参加してくださった方からの意見です

大豆島への一極集中は困ります。

○大豆島の周りに、どうしても最終処分場ばかり持つてくるのか税金を免除にしますと言われるても将来の子供のことを思うといやだ。

○これは、大豆島地区だけの問題じゃなく、三十六万長野市民全部平等に、その責任があるんだよ。長野市二六行政区みんなで検討したら、どういい意見が出てくるか。必ずいい意見が出てくる。みんなで真剣に考えればゴミの減量にもつながる。

○市が廃プラ施設建設計画を進めてる事を知って、民間の処理施設が大豆島の周りに出来てきている。

○大気汚染が心配です

○清掃センターの煙は蒸気被害がないって聞いてたけど、改修前はダイオキシンが出ていたと聞きました。化学物質についても今は、科学者でも、まだまだわからない事が多い中で、後からあの時出てしまったと言われるんじゃないかと心配です。

市会議員が先頭に立つて

区長さんの所にお願いにいつてくださいます。議員さんが、地域のみんなの気持ちを聞いてくれるなら、考える会の人があれば署名を集めたり、地域でも反対がある

んだから、議員さんが先頭に立つて区長さんのところをお願いに行ってください。

○反対がある中で建設を決めた役員さんは責任を取ってずっと役員を続けて欲しい

○環境課長さんは、何か問題が起きたら責任を取るの地区の役員さんだといっていました。

町田伍一郎 議員



「大豆島への一極集中は止め、分散化する。先頭にたつて、長野市二六行政区に話しをする。環境課へも話しをする。」

「まだ、大豆島への建設は決まったわけではなく、『どうですか』と言われてるだけ。」

「長野市民全体で検討会をするよう、3月議会提案する。」とお約束しました。

轟正満 議員

懇談の中で、「皆さんの意見を聞いて大変勉強になりました。」

「長野市は大豆島以外への建設は考えてないと思うが、出来る事があれば力になります。」

地元の議員さんが、議会に私たちの声を届けて下さる事を期待します。

十二月二十五日の施設設置検討会

十二月二十五日の施設設置検討会 長野市の報告 について

長野市は昨年十二月二十五日プラスチック圧縮梱包施設設置検討会を開催し、後日検討会議事録を公開するとの事でした。

しかし、一月二十一日提示された議事録には

- ・化学物質過敏症はごく少量でも影響起こる。軽微であるので公害等泣き寝入りしている事が多い
- ・一年間実験として、チェックしたらどうかはじめてからあとで何か起きてもいいけない。
- ・問題が起きたら、稼働を留めるべきだ
- などの提案や、問題点の指摘は一切記入されていませんでした。(資料請求は考える会まで)

考える会が提出した第二回要望書に対する 長野市の「回答」について

一月十日長野市長宛に「第二回要望書」を提出しました(全文は裏面です)

その要望に対し、一月二十二日付けで回答が届けましたが、全く誠意のない回答でした

「一極集中については、広域連合内での分散化も将来に於いて充分考慮しなければならぬ」と漠然とした内容で、具体的に示されず、複合汚染については一言も触れられていません。

また、度々説明に使われる「全国五〇〇箇所問題ありません」と言う根拠や具体的な資料の提出には一切応じず、

同様の施設見学についても、何度も約束しておきながら、「須坂と更埴のビデオでご理解いただいている」との回答です。更埴は長野市の一〇分の一、須坂は二〇分の一の規模で、しかも、焼却場・不燃ゴミは別の地域にあります。

建設前から、住民の要望にまともに答ええないような行政が、建設後「モニタリングをします」「住民の声を聞きます」なんて事を言っても信じられると思いますか!?

私たちの声を

区長さんに届けましょう!